

岐阜県立恵那特別支援学校 非常時の対応について

○気象警報発表時等の対応

令和8年5月

- ・岐阜地方気象台から、**当校校区（恵那市・中津川市のいずれか一市のみを含む）**に各種の気象に関する警報（警戒レベル3相当以上）が発表された場合、下表の対応をします。
- ・気象警報に関わる対応について学校からメールを配信するのは、原則として表中の●印項目または行事等で特別な対応をとる場合とします。
- ・配信されたメールを読まれたら、本文下にアンケートや既読確認ボタンがある場合はその部分をクリックしてアンケートに回答または既読確認通知をし、読まれたことを学校に通知してください。
- ・悪天候や災害により、メール等が使用できない場合があります。気象情報に注意してください。

状 況		対 応
登 校 前	警戒レベル3以上の警報発表等が予想される場合	●前もって、臨時休業や自宅待機とする場合がある。その際は学校からメールでお知らせする。
	警戒レベル3以上の警報発表中	○自宅待機とする。
	午前6時までに解除された場合	○原則として平常授業を行う。 ・スクールバス通常運行 ・給食あり
	午前6時を過ぎて午前11時までに解除された場合	○小学部1・2年生は臨時休業とする。 ●学校周辺や通学路の安全が確認された場合は、メールでお知らせし、小学部3年生以上は午後の授業を行う。 ・児童生徒の登校は 12時50分から13時10分 の間 ・自力通学生以外は保護者等の送りで登校 ・スクールバスは下校時15:30便のみ通常運行 ・給食なし ●警報解除後であっても、状況によって臨時休業等の措置をとることがある。その際はメールでお知らせする。
午前11時まで解除されなかった場合	○臨時休業とする。	
登 校 途 中	自力通学	○生徒は、最寄りの駅等、安全な場所で保護者等または教員の迎えを待つ。 ・学校や自宅が近く、待機するよりも安全と判断できる場合は担任に連絡した上で、登校または帰宅する。
	スクールバス通学	○天候や道路状況を確認し、安全な場合は運行を続ける。すでに乗車している児童生徒は登校し、学校待機とする。 ・乗車前の児童生徒は速やかに保護者等と帰宅する。
	保護者等送迎による通学	○天候や道路状況等を確認し、安全な場所に待機、または速やかに帰宅する。
下 校 途 中	自力通学	○生徒は、最寄りの駅等、安全な場所で保護者等または教員の迎えを待つ。 ・自宅や学校が近く、待機するよりも安全と判断できる場合は担任に連絡した上で、帰宅または学校に戻る。
	スクールバス通学	○天候や道路状況を確認し、安全な場合は運行を続行し、各バス停で児童生徒を保護者等に引き渡す。 ○バス停からの自力生については、バス停まで保護者等の迎えとする。 ・天候や道路状況が安全と判断される場合は、保護者等と相談した上で、自力での帰宅または学校に戻る。
	保護者等送迎による通学	○天候や道路状況を確認し、安全な場所に待機、または速やかに帰宅する。
登 校 後	全児童生徒	●警報発表が予見される場合、授業を打ち切って下校を早める場合がある。その際はメールでお知らせする。 ○警報発表中は、原則として児童生徒は学校待機とする。 ●警報解除後、通学路等の安全確認をした後、メールでお知らせした上で、保護者等に引き渡す。
	自力通学 （スクールバス停までの自力生を含む）	●発雷が予見されたり雷鳴が聞こえたりする場合は、学校待機や帰宅時間を早めたり、下車駅やスクールバスのバス停まで保護者等の迎えとしたりする。

○地震が起きたとき、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」が発表されたときの対応

- ・当校校区（恵那市・中津川市のいずれか一市のみを含む）において、震度5弱以上の地震発生、又は「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）」の発表があった場合、下表の対応をします。
- ・災害時には、電話やメールが通じないこともあります。学校から連絡がなくても、地震に関する情報や道路状況、被害状況等についての情報に注意し、児童生徒の安全のために、自宅待機、学校待機、学校へのお迎え等のご協力をお願いします。

		地震発生 (震度5弱以上)	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)
登校前		学校から連絡があるまでは、自宅又は安全を確保できる場所に待機	
		●臨時休業および臨時休業期間については、学校よりメールで知らせる。	
登下校途中	自力通学	①身を守る行動をとる。 ②揺れがおさまったら、最寄りの駅（または学校）等、安全な場所へ移動し、保護者等又は教員の迎えを待つ。公共交通機関利用時は、駅員やバス乗務員の誘導に従って行動する。 ③帰宅した場合は、学校に連絡する。	
	スクールバス通学	①安全な場所で待機する。 ②<登校時> ・道路状況を確認し、運行可能な場合、それ以降のバス停には止まらず、児童生徒を乗せたまま、バスは学校に直行する。 ・運行が不可能な場合、最寄りの避難可能な場所に待機し、保護者等の迎えを待つ。 <下校時> ・道路状況を確認し、運行可能な場合は続行する。 ・運行が不可能な場合、最寄りの避難可能な場所に待機し、保護者等の迎えを待つ。 ・帰宅した場合は、学校に連絡する。	
	保護者等送迎による通学	①身を守る行動をとる。 ②保護者等の責任の下、最寄りの避難場所あるいは学校か自宅に移動する。 ③帰宅した場合は、学校に連絡する。	
登校後		児童生徒引き渡し（保護者等が学校に迎えに来て下校する） 引き渡しまで学校待機 スクールバス運休	

※「南海トラフ臨時情報（巨大地震警戒）」が発表された場合、地震の有無にかかわらず、登校前は自宅待機、登校後は引き渡しとなります。

なお、当校が、土砂災害特別警戒区域に立地しているため、一定期間臨時休業になることもあります。対応についてメールにて連絡します。